

日本歯科色彩学会

「色彩」

NEWS LETTER 第11号

1996年8月1日発行

発行所 日本歯科色彩学会

〒101 東京都千代田区神田駿河台2-1

廣瀬お茶の水ビル4F

クインテッセンス出版株式会社内

TEL 03-3292-3691 FAX 03-3292-3696

発行者 橋口緯徳

(第11号担当: 元谷昭夫、猪越重久)

遅かったショックウェーブ

片山 直

本学会の第4回学術講演会は1996年9月8日、日本歯科大学九段ホールで開催される。当日は口演発表、総会に続きシンポジウムとして”歯科と映像の最前線”を行う予定である。シンポジウムではデジタルカメラ、インターネットそしてスライドの作製方法などについて講演を行う。ここではそれらについて簡単に紹介する。

近頃テレビを見ればかならず一度は耳にする言葉は”デジタル〇〇”か”チョー〇〇”である。それほどにデジタル化された製品が出回ってきておりビジネスユースより一般ユーザーをターゲットにしたものが今後もますます改良が加えられて行くものと思われる。そして歯科にも様々なかたちで応用されているだろうし、それらの製品を取り上げてみないとわれわれ自身チョー遅れてることになりかねない。

これまでの歯科に使用されたデジタルカメラは本学会誌「歯科の色彩」第1巻1号にて中澤が紹介するように画質はよいが高額でなかなか一般臨床に使えるものではなかった。しかし昨年、カシオ計算機の手軽に撮れて、ビデオへ出力でき、パソコンに入力可能である製品がヒットし、多くのメーカーが同様の価格帯で製品を発表してきた。現在新製品が相次いで発表され半年経てばどのような製品が出るか予測がつかない現況である。まだ不十分なところはあるが目的により現在市販のいわゆる普及型のデジタルカメラは歯科応用可能であると思われる。今回、メーカーよりデジタルカメラとはなにかといろいろな製品について他社を含めてお話しただく予定である。

一昔前、今の電卓よりやさしい計算をベシクする言語にて作っていた高額なパソコンもいまやただの家電となり、小学生の女の子に「お父さん、ちょっとパソコン借りるよ」と言われ、「つぶすなよ」「あんたじゃない」の会話のようにごく一般的に使われている。いまに「(サイバー) モールで無駄使いするなよ」ということになりかねないほど、このところインターネットの利用率が高い。雑誌にも「パソコンはどれがよい」から「インターネットここが面白い」が特集となっている。さらに中毒の患者(文芸春秋8月号)もいる。ホームページにて首相官邸でお言葉を聞くもよし、ホワイトハウスに行くもよし、コムロでリリース予定を見るもよし、大学情報を知るなどが簡単にできる。そしてEメールで互いに画像を送ることができる。そこでいま歯科にどのように使われているかを発表していただく。

さてスライドといえは一世を風靡したブルースライドに代わって多彩なスライドが近年多く見受けられる。ブルースライドも無難で捨て難い気持ちもある。でもカラスライドを作りたいが、一体どのようにしてこれらのスライドが作製されて行くのかテキストだけではわかりにくいと思われる。そこでプレゼンターにカラスライドについてパソコンをどのように利用して作製するかをご紹介頂く。

現在ほど加速的な技術の発達には過去にはないという人もいる。我々も歯科・歯科色彩の未来をしっかりと見据えたうえで、これらの波に乗り遅れることなく研鑽を積みみたいと思う。

各種委員会開催案内

研究部会 潤田和好部会長

材料委員会講演会

宮崎隆・猪越重久

開催日時：平成8年10月8日（火）

午後6時から8時

開催場所：昭和大学1号館講義室（予定）

東京都品川区旗の台 1-5-8

（東急池上線旗の台駅下車徒歩5分）

講演タイトル

コンポジットレジンの色調適合性を考える

講師 東京医科歯科大学歯学部講師
猪越重久先生

講演要旨：昨年度好評だったテーマの第2弾。修復部位に応じて、日々の臨床でコンポジットレジンの色調を歯質に適合させるにはどうしたらよいか。今まで見逃されていた材料側の因子は何か。どのコンポジットレジンが使いやすいか。多くの臨床家の意見を請う。

会費：会員無料

連絡先：昭和大学歯学部歯科理工学教室
宮崎 隆

電話：03-3784-8178

FAX：03-3784-8179

E-mail：miyazaki@dent.showa-u.ac.jp

測色委員会

猪越重久、石橋 寛二

現在、東京医科歯科大学歯科技工士学校の協力を得て、歯科用焼き付け陶材（トランスルーセント、エナメルならびにデンチン色）の拡散透過光分布を変角光度計を使用して測定し、人工エナメル質ならびに象牙質と比較を行なっています。その成果は、8月31日に広島で開催される日本歯科技工士学会で報告いたしますが、ニュースレターでも報告する予定です。

教育部会 片山伊九右衛門部会長

環境委員会／見学委員会 合同開催

久光 久、元香昭夫

予定として下記の計画をしています。

- ①大日精化・カラープランニングセンター、
- ②富士写真フィルム

セミナー委員会

桑田正博、河野 篤

講演：ポーセレン歯冠の層構造

—それぞれの厚みと透過性について—

司会：指宿 真澄

パネラー：伊集院正俊、桑田正博

日時：1997年6月26日

時間：午後6時～8時30分

場所：技工士会館 東京市ヶ谷

97年の計画ですが、会員の皆様にはスケジュールに組み入れて頂ますようご案内申し上げます。

色彩関係の図書

村上元彦著 どうしてもものが見えるのか
岩波新書1995

残像がおこる色は補色である。緑の補色は赤で、青の補色は黄である。残像現象をけいじりたひ逆時色対比と心理物理学では呼ぶ。診療室の壁や治療などにぶい緑色の服を着用するのは体験的に補色を押さえるためであることはよく知られている。補色は色彩の組み合わせ（配色、カラーコーディネートなどいろいろ呼ばれている）による配色効果を考えるとき、色の対比効果として積極的にあるいは色対比の効果を考えて設計される重要な要素である。

色の見えが私たち普段の生活にあって大切な働きをしていることの証拠であるが、補色が起こる現象の基本となる色覚について、眼と網膜それに光を電気信号に変える視細胞、さらに発生した視覚情報を脳がどのように処理し色を見分けるかという生理学的現象を抜きに理解することは不可能である。本書は、新書版で入手しやすく色彩学の基本ともいえる重要な色覚生理について解説されたものである。

初学者向けの色彩の本には眼と網膜についてたいい解説した項目があつて網膜がしばしば写真のフィルムにたとえられることがある。本書からこの内容をそのまま以下に引用すると…

「さて、多くの本で、網膜は写真のフィルムにたとえられるが、両者ははたらきがまったく違う。誤解をまねきやすいので、このたとえ話はやめたほうがいい。フィルムはいちど感光すれば、外界の像はフィルムの上に固定されてしまうが、網膜は時々刻々変化する画像の情報を速いスピードで処理して、大脳の視覚中枢に送りこんでい

る。この点ではビデオカメラに似ているが、原理はまったくちがう。ビデオカメラは外の景色が映ったスクリーンを走査して、画像のこまかい点々（画素）の明暗と色彩の情報を時間の順序（時系列）で送るが、網膜はぼうだいな画像の情報を同時に並列処理して脳に送りこんでいて、ビデオカメラよりも情報処理のプログラムが格段に高級なのである。スーパーコンピュータは情報を並列処理して計算速度をあげているので、網膜はむかしからスパコンだったといえる。」

ところで、スパコン並みの機能を持つわれわれの視覚能力も、パソコンのようにはやりのゲームやワープロだけに向けられるだけではなく、より高度な情報処理に使うことを考えなければいけないであろう。情報処理は本来の目的を見失ったりすると何をしているのかわからなくなる怖さがある。

さて、学校保険法施行規則の改正により学校での色覚検査は行なわないことになった。1997年10月30日付けの朝日新聞紙上において“だまっておれぬ「色覚問題」”という論壇記事が掲載されその中で、この問題に名古屋在住の一開業医によって十数年努力されていることが紹介されている。色覚に関する無批判とともとれる偏見は色覚に関する学問的課題をわれわれも含む一般社会が取りちがえて判断した結果ではないだろうか。

本書後半部の項目はこのような問題についての眼科専門医からの警鐘として襟を正して拝読したい。

元吞昭夫

員各位

日本歯科色彩学会会長

平成8年度総会の開催について（通知）

日本歯科色彩学会平成8年度総会を下記により開催いたしますので万障お繰り合わせの上、ご出席下さい
ますよう、ご通知申し上げます。

記

日時 平成8年9月8日（日）11時20分開会

場所 日本歯科大学 九段ホール

以上

第4回日本歯科色彩学会総会・学術大会について

1. 会 期： 平成8年9月8日（日） 9:00～16:00

2. 会 場： 日本歯科大学九段ホール
〒102 東京都千代田区富士見1-9-20 日本歯科大学
交通：飯田橋駅より約5分

3. 内 容： 総会
口演発表
シンポジウム「歯科と映像の最前線」
ーデジタルカメラとインターネットー
デジタルカメラ市販品とその現況 飯島隆三（富士写真フィルム）
デジタルカメラの歯科応用 片山 直（明海大学）
インターネットの歯科応用 高瀬保晶（東京歯科大学）
スライド作製のポイント 山本美朗（明海大学）

4. 参 加 費： 会員 6,000円
非会員 8,000円
学生 3,000円

（ご注意：大学院生は一般扱いになります）

5. 大会事務局： 明海大学歯学部保存修復学講座
（問い合わせ） 片山伊九右衛門（大会長）、片山 直（準備委員長）
〒350-02 埼玉県坂戸市けやき台1-1 明海大学歯学部
TEL 0492 (85) 5511 FAX 0492 (71) 5808